

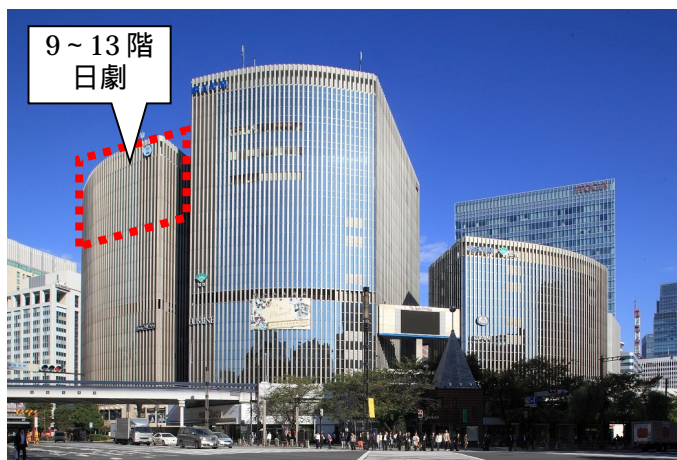
～ 有楽町・日比谷 SCREEN & STAGE の街 ～

映画館「日劇」跡が次世代の集客施設に生まれ変わる！

既報の通り、千代田区有楽町二丁目の有楽町マリオンにて営業中の映画館「TOHO シネマズ 日劇」は2018年2月上旬に閉館いたします。東宝株式会社は、この日劇跡に入居する新施設を決定しましたので発表いたします。映画館の大空間を生かした次世代の集客施設を導入し、弊社グループ創業の地である「SCREEN & STAGE の街」有楽町・日比谷の集客力・回遊性を高めて参ります。

「有楽町マリオン」の外観

【本リリースの内容】
日劇跡の新規テナント概要
有楽町・日比谷「SCREEN & STAGE の街」について
今後のスケジュール



千代田区有楽町2-5-1 有楽町センタービル

日劇跡の新規テナント概要

11～13階「日劇1」跡：貸ホール（2018年夏オープン予定）

会社名：ヒューリック株式会社 <http://www.hulic.co.jp/>

名称：「ヒューリックホール東京」（施設面積：約1,950㎡、座席数：約900席予定）

特徴：当該エリアは、古くから演劇・映画などのエンターテインメントの街、大規模オフィスが集積するビジネスの街、双方の顔を持つことから、様々なイベントに対応できる設備を整備します。既存施設を活かし、必要な機能や設備を新設する合理的なコンバージョンにより、「日劇」の雰囲気を引き継ぎながらも、新鮮なスポットとして時代のニーズに応えていきます。

9～10階「日劇2・3」跡：プラネタリウムを中心とした複合型映像体験施設（2018年冬オープン予定）

会社名：コニカミノルタプラネタリウム株式会社 <https://www.konicaminolta.jp/planetarium/index.html>

名称：未定（施設面積：約1,970㎡）

特徴：最新鋭の映像機器と設備を導入し、同社が長年培ってきたプラネタリウムや全天周デジタル映像を主体としたドーム施設の経験をフルに活かし、従来の枠組みにとらわれない、様々な新しい映像体験の発信基地として運営してまいります。映画や演劇など芸術文化に関心の高い層をメインターゲットとして、星空と全天周映像をはじめとする、今までにない複合体験を提供する予定です。

有楽町・日比谷「SCREEN & STAGE の街」について

有楽町・日比谷は、弊社所有の日劇、帝国劇場、東京宝塚劇場、シアタークリエ以外にも日生劇場、オルタナティブシアターなど日本有数の劇場集積エリアです。新設される「東京ミッドタウン日比谷」内に、より充実した複合映画館「TOHOシネマズ 日比谷」が加わり、旧・日劇跡に新施設がオープンすることにより、次世代を見据えた「映画と演劇の街」へ進化いたします。日劇跡への集客施設の誘致と「TOHOシネマズ 日比谷」開業に、大人のSTAGE（商業施設）「日比谷シャンテ」のリニューアルと新広場の整備を加えた3つを軸に、更に発展するこのエリアにご期待ください。

今後のスケジュール（予定）

- 2017年10月6日 「日比谷シャンテ」リニューアル第1弾（1階 東京宝塚劇場側 新店舗オープン済）
 12月上旬 「日比谷シャンテ」リニューアル第2弾（地下2階レストランフロアオープン）
 2018年2月上旬 「TOHOシネマズ 日劇1・2・3」閉館
 3月下旬 「日比谷シャンテ」リニューアル第3弾（全館・新広場オープン）
 3月29日 「TOHOシネマズ 日比谷」（東京ミッドタウン日比谷内）オープン
 夏 「日劇1」跡に「ヒューリックホール東京」オープン
 冬 「日劇2・3」跡に「プラネタリウムを中心とした複合型映像体験施設」オープン

以上